

令和7年度 全国選抜予選 連絡事項

大会運営・入場・応援について

- ・全日本剣道連盟が定める試合方法に基づく。選手は試合時、シールドかマスクを着用すること。
- ・観客制限は行わないが、体育館のフロアの試合場内に入ることができるのは選手、監督のみとする。
- ・選手控室は特に定めないが、剣道具で座席を占拠することがないようにするため、通路に整理して通行の邪魔にならないように置いておくこと。
- ・シートを敷いての席取りは行わない。
- ・応援は拍手のみ。選手以外1F防球ネット以降のスペースにて応援をする。保護者および一般の観客は2階からとする。
- ・入館時の密を避けるため観客席を各校毎に割り振る。早い時間から会場前に並ぶことは禁止。選手から時間差で入場。応援は観客席から行うこととする。
- ・各校で下足、貴重品を管理。ごみも各自で持ち帰る。会場内で盗難等何かあっても、本部では責任は持てない。
- ・審判以外の顧問、外部コーチ、並びに副顧問の先生はIDカードの持参を。(学校で使用しているもので可)
- ・選手、部員、保護者の履物は、各校靴入れを準備し、責任もって管理してください。会場施設の下足箱は使用しないようにしてください。
- ・会場には暖房施設がありません。各自防寒対策をされてください。
- ・サブ体育館は選手控室(アップ会場ではありません)として使用してください。

竹刀検量について

- ・密を避けるため検量時間を設定。申請する竹刀の本数は一人あたり3本以内。(期間中、竹刀の破損等あった場合は別途対応)
学校名、氏名を記入し、各校事前に点検・確認を行ったうえで検量すること。(竹刀の重量不足や破損、中結の位置、つるや中結のゆるみ、先皮の破れ、竹刀の節の隙間等がないようにする。ちくとう部の計測も行う。検量時に不合格の竹刀はその場で返却する。) 検量は9時00分より女子の選手から。
- ・合格の竹刀にはシールを貼る。

審判の先生方へ

- ・(公財)全日本剣道連盟が定める審判の服装でお願いします。(my審判旗)
- ・お弁当は出せませんのでご理解ください。(引率のない審判、補助員のお弁当は準備します。)

その他

- ・プログラムは後日各校または顧問・監督の先生にPDFにて送付します。
- ・4人及び3人チームの出場を認めますが、4人チームは「次鋒・中堅・副将・大将」、3人チームは「中堅・副将・大将」に選手を登録してください。不戦勝の選手は勝ち名乗りを行います。
- ・駐車券を発行します。(役員・監督・審判は緑色で保護者は水色。高体連の押印あり)
- ・一般応援の方の車(駐車券なし)での来場(高来支所のみ 約180台駐車可)も可能ですが、できるだけ公共交通機関で来場ください。くれぐれも近隣の道路や商業施設に停めることがないようにしてください。大会本部として責任を負えません。